

2027年末まで

まもなく蛍光灯の取り換えが出来なくなります！



2027年末をもって、すべての一般照明用蛍光灯の製造・輸出入が終了します。これは2023年11月の「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議」で決定されたもので、既にメーカー各社が生産終了の動きを見せています。今後、供給減少や価格高騰のリスクが高まるため、早めの対策が必要です。

廃止の時期（蛍光ランプの種類ごとに廃止時期が異なります。）

種類	直管蛍光ランプ	環形蛍光ランプ	コンパクト形蛍光ランプ
廃止年月日	2027年12月31日(※)	2027年12月31日(※)	2026年12月31日
写真(例)			

＜製造中止の対象となる蛍光灯の見分け方＞

- ・「F」で始まる品番が記載されているものは蛍光ランプに該当する
- ・三波長形蛍光ランプには「3波長形」または「EX」と表記あり

海外製品では表記が異なる場合があるため、メーカーや販売店に確認してください。

【熊谷営業所つぶやき】 早めにLED照明器具への交換をおすすめしたいのですが…メーカー（品番）によりですが、1月中旬時点でLED一体型ベースライト・直管LED照明欠品中、目安納期3～5ヶ月（未確定）です。ご依頼前に在庫状況を要ご確認下さい。



エアコンの2027年問題も…



2027年4月以降、省エネ基準が引き上げられ、基準に満たないエアコンの製造・販売ができなくなる。結果として現在販売されている低価格帯のエアコンがなくなり、全体的な価格上昇の可能性がございます。

【熊谷営業所つぶやき】 省エネ性能が高くなるメリットはもちろんありますが、大幅な性能向上により生産コスト増が必要になり、安価エアコンが減少する可能性大です。またエアコンの駆け込み需要で品薄が予測されます。夏前から夏場にかけては施工も繁忙期です。早め早めのご依頼ご検討をよろしくお願いいたします。